

令和4年度 日置市教育委員会定例会(7月)

- 日 時：令和4年7月21日(木) 午後3時30分～午後4時20分
- 場 所：日置市中央公民館 研修2・3(3階)
- 出席者：奥教育長
委 員：内村委員・胸元委員・鶴木委員
事務局：久木崎(事務局長兼教育総務課長)・中鉢(学校教育課長)
立和名(社会教育課長)・恒吉(東市来支所教育振興課長)
迫田(日吉支所教育振興課長)・山下(吹上支所教育振興課長)
宮前(教育総務課長補佐)

1 開会

奥教育長：ただ今から日置市教育委員会7月の定例会を始めたいと思います。

2 前回議事録の承認

奥教育長：今日は中島委員がご欠席です。それでは、前回議事録の承認からお願いいたします。お配りいたしました6月の議事録について、修正等はありませんでしたでしょうか。

はい、鶴木委員。

鶴木委員：1つお願いします。3ページ1～2行目です。この「取り組み」は名詞ですので、送り仮名を取ってください。よろしくお願いたします。

奥教育長：はい、ありがとうございます。他にございませんか。

(特になし)

よろしいですか。

(特になし)

それでは、無いようですので、前回の議事録は承認とさせていただきます。

【前回の議事録承認】

なお、署名・押印は、胸元委員と鶴木委員にお願いいたします。

3 委員及び教育長の報告

奥教育長：それでは委員及び教育長の報告に移りたいと思います。今日は鵜木委員からお願いいたします。

鵜木委員：報告させていただきます。

7月6日に伊集院北中学校を訪問させていただきました。学校に着いた時間帯はかなり強い雨が降っていましたが、濡れた体を拭けるようにと玄関にタオルを準備して迎えていただいた心配りがありがたく、気持ちよく訪問をすることができました。伊集院北中学校は、教育目標に「郷土を愛し 豊かな心とたくましい体をもち 夢に向かって粘り強く 自ら学び続ける生徒の育成」を掲げ、「立志」「躍動」「友情」の校訓の下、「学校の組織力の向上」「積極的・実践的な生徒指導の充実」「確かな学力の定着」「気力・体力の向上」の4つの重点及び努力点を掲げ、取組が進められていました。職員は、県費負担職員28人と市費負担職員4人の32人で構成され、50歳以上の教師が全体の50%に当たる14人いるにもかかわらず、20代の教師が7人配置されていることで、平均年齢は45歳と数字の上からは、ほぼ理想的な職員構成になっていると感じました。

学校訪問に当たっては、校長の学校経営方針について確認することはもちろんですが、特に学力向上対策と生徒指導対応については、どの学校でも経営の重点及び努力点として掲げられていることから、学校の取組状況を知る目安になると考え確認することにしています。学力ではアンダーアチーバーがおよそ2割存在していますが、彼らは教科ごとの学習内容が十分に理解できず、それが家庭での学習習慣形成につながらないのではないかと考えられるところもありました。このことは、生徒を引き付ける教師の授業づくりにまだ工夫や改善の余地があることにつながると考えられますので、指導法改善や学習支援のための加配教師を中心に、個に応じた指導の充実に努めてほしいと思いました。逆に、オーバーアチーバーの生徒がおよそ1割存在している実態があることから、グループ学習時や提示された課題等に対して考えを練り、解決策を見出す活動などで、彼らを核として大いに活用していけば、「主体的・対話的で深い学び」の実現につながるのではないかと第三者的な立場で思うところもありました。生徒指導では、不

登校生徒が全校生徒の4.5%に当たる14人いますが、そのうち4人は欠席日数が減少傾向にあるとお聞きして、家庭や関係機関等との連携による取組が成果に結びついてきているのだろうと思いました。生徒指導上の問題は、一朝一夕に解決できる問題ではないので、家庭や関係機関等との連携をさらに深め、根気強く取組を継続して行ってほしいと思いました。

7月12日は伊集院中学校を訪問させていただきました。予定より早めに到着したため、職朝の時間と重なりましたが、玄関には訪問者の人数分のスリッパが整然と並べられており、私たちを迎え入れる準備が整えられていると感じました。校舎に入ると、廊下の腰板や教室の壁などに木材がふんだんに使われており、温もりのある教育環境の下で日々の学校生活が営まれていることを実感しました。教職員は、県費負担職員35人と市費負担職員4人の39人で構成され、40代の教師が全体の56.6%を占める17人おり、20代の教師も4人配置されているなどバランスがとれ、平均年齢も46歳という職員構成になっていました。生徒数も500人を抱え、日置市の中心校として風格と伝統のある学校として位置づけられており、あらゆる面で注目が集まる学校だと感じました。

学校教育目標に「気づき、考え、実行し、未来を拓く、心豊かでたくましい生徒の育成」を掲げ、「確かな学力の育成」「豊かな心とたくましい体の育成」「生徒指導の充実」「信頼される学校づくり」を経営の重点として、様々な取組が行われていました。校訓の「美しき魂」は、伊集院の生んだ幕末の志士有馬新七の言葉で、正しく真っ直ぐに汚れなき心を身に付けてほしいという願いが込められているものと考えられます。また、補助資料として「鹿児島学習定着度調査」を教科ごとに分析した資料や生徒指導に関わる資料などが作成されており、大いに参考になりました。教育活動の中でも、土曜授業を活用して実施する「構成的グループエンカウンター」の取組は、生徒同士が本音で物事を伝え合い、受容する心を育てる活動として、いじめや不登校対策として期待がもてる取組だと感じたところです。

授業参観を2時間かけて行いました。教育委員会による学校訪問を受けて、全ての教師の授業を見てもらいたいという学校の願いは理解できるのですが、一教室が3分程度の参観であったため、

時間に追われてしまい、学習の展開状況を十分に確認することができなかったのが残念でした。学習指導案については、生徒主体で書かれるべき「学習活動」の欄に、教師の立場で行うべき活動についての表現があったり、提示した目標を達成するために必要と考えられる活動内容の詳細が「展開」部分に示されていなかったりする中身の薄い指導案も目につき、生徒の躓きをどの段階で気付くとともに、本時のねらいを達成する授業になっているのかなど疑問を感じる授業もありました。

参観しながらでしたが、理科室や美術室などの特別教室等に空調がなく、ここを使用して行われる夏場の授業は大変だろうなど思いました。さらに、学級数に比べ給食配膳室が狭く、一つの学級が受け取って退室するまで、他の学級は待機している状況が見られました。先生方が効率よく動けるようにと指導をされていましたが、動線上で何らかの対策が必要ではないかとも感じました。施設参観では、特に10,800冊の蔵書があるという図書室が、明るくきれいに整理されていて印象に残りました。以上でございます。

奥教育長：はい。ありがとうございます。胸元委員、お願いいたします。

胸元委員：報告いたします。

6月27日、永吉小学校・花田小学校・和田小学校、3校合同田植え体験が行われました。昨年までは各校で班を作り植えていましたが、今年は3校の交流を考えて3校入り交じって班を作り、班内で交流できるようになりました。短い時間ですので苗を植えることに一生懸命で、なかなか思うような交流とはいかないようでもありましたが、毎年続けていくことで顔見知りになり話も弾むようになるのではないのでしょうか。この取組が中学に進学したときに生きてくることを期待しています。

7月6日、日置市教育委員会で伊集院北中学校を訪問いたしました。生徒数は310名、学級数が13です。伊集院北中学校キャッチフレーズ「夢と誇りと感動の北中魂～スマイル北中～」として、「ス：素直な心 マ：毎日笑顔 イ：いじめを許さない ル：ルールを守る き：きらめく瞳 た：確かな学力」を掲げていました。学校全体が「いじめを許さない」と言い切ることで生徒がいじめに対する学校の姿勢を知り、安心して通うことができる学校づくりにつながるのではないかと思います。

7月12日、同じく日置市教育委員会で伊集院中学校を訪問いたしました。生徒数は500名、学級数が16です。学校経営の重点目標は「信頼される学校づくり」で、「確かな学力の育成」「豊かな心とたくましい体の育成」「生徒指導の充実」「信頼される学校づくり」の4点を挙げていました。自他の立場や考えに思いをめぐらせ、共に協力し合い、協働できる実践力の育成として構成的グループエンカウンター年間5回の実施、学級における仲間づくりにも配慮し、些細なことでも相談できる体制をとっているとのことでした。様々な考えを持つ生徒がいるなかで、家庭と学校・地域が連携し、「勉学・敬愛・自治・協同・気魄」の五教訓へと導いてほしいと思いました。以上です。

奥教育長：はい。ありがとうございました。内村委員、お願いいたします。

内村委員：報告させていただきます。

6月29日は、日吉地域青少年育成会議に出席しました。30年度から本事業は日置市1本化になりましたが、日吉地域では青少年健全育成団体相互の連絡と情報交換等を交えて、青少年の健全育成に努めています。会では令和3年度事業報告で、日吉地域校外生活指導パトロールを3回、日吉地域街頭補導を2回、日吉地域ふるさと学寮に小学生21名が参加、日吉地域史跡めぐり歩こう会はコロナにより中止、令和4年度計画では、ふるさと学寮の6月実施は延期の報告がありました。情報交換では、地域から「コロナの影響及び少子化で、郷土芸能の中断により、地域と子どもとの繋がりができない」「雨の日の通学は自家用車での送迎が多い」「見守り活動では、定期的に声かけして、信頼・安心・安全な地域づくりをしていきます」「暴走運転や自転車のマナー違反については、警察で指導していきます」等、真剣な意見が交わされました。21日から夏休みに入りますが、水難・交通事故等に児童・生徒が遭わないように、地域全体で子ども達の安全を見守り、声掛けしていく活動を確認しました。

7月8日は日吉学園前期課程生の水泳参観をしました。昨年度のプール改修工事で、プール内部を塗り直し、水がものすごく透き通るような青さの中、児童の皆さんが元気に水しぶきを飛ばしながら泳いでいました。泳ぎの速い子どもは、きれいな泳法でゴールを目指し、泳ぎの苦手な子も一生懸命に最後までゴールを目

指す姿に、たくさんの声援が飛び、ゴールを万雷の拍手で迎えました。最後に自由にプール内を歩いたり泳いだりと、子ども達が水に親しみながら、楽しく泳いでいる様子を見ることができました。

また、7月6日の伊集院北中学校、7月12日の伊集院中学校の学校訪問については、胸元委員、鶴木委員が詳しく述べられたので割愛いたします。最後に、今日から夏休みに入りましたが、来週からのラジオ体操に参加して、子ども達が元気に早起きし、健康で安全な夏休みになりますように、地域で見守っていきたいと思います。私からは以上です。

奥教育長：はい。ありがとうございます。それでは私の方から報告をさせていただきます。前回の教育委員会定例会以降でございますが、6月29日に社会福祉協議会のボランティア協力校相互研修会が日吉老人福祉センターでありました。これは市内の小・中・義務教育学校、それから高校まで、全学校が入っておりまして、その中で3校、美山小・伊集院中・鹿児島城西高校の実践報告がございました。特に伊集院中学校の方からは、昨年度の生徒会による医療従事者への感謝の気持ちを伝える取組について報告がございました。

それから2つ目は、7月7、8日に県内19市の教育長・総務課長会が奄美市で開催されまして、久木崎局長と一緒に出席いたしました。会の中では、世界自然遺産に指定される経過、それからその価値について、映像を交えて紹介がありました。その後、各教育委員会の当面する行政上の課題について情報交換を行ったところです。2日目は、奄美海洋展示館と奄美博物館の視察ということで、奄美市の歴史と自然について深く学ぶことができたと思っております。こういう状況でしたので、懇親会は残念ながらできませんでしたが、いい研修ができたかなと思っております。

後は先程ございましたように、学校訪問、それから伊集院小中の道徳教育研修会に出席をいたしましたし、7月3日、10日は県体の地区予選選考会を視察いたしました。9月に予定されております県民体育大会が今年は予定通り実施できることを願って、報告いたします。それでは以上で報告を終わります。

4 議事

【議案第2号 日置市吹上高等学校夢創(ゆめづくり)プロジェクト支援交付金交付要綱の制定について】

奥教育長：議事に移らせていただきます。今日は議案と報告がそれぞれ1本ずつございます。まず、議案第2号 日置市吹上高等学校夢創プロジェクト支援交付金交付要綱の制定について、提案をお願いいたします。久木崎事務局長。

久木崎局長：はい。それでは議案第2号は日置市吹上高等学校夢創プロジェクト支援交付金交付要綱の制定について、でございます。

資料は3ページになります。提案理由といたしまして、鹿児島県立吹上高等学校の活性化を図るため、予算の定めるところにより同校に対し、予算の範囲内において交付金を交付する要綱を制定したいので、日置市教育委員会の行政組織等に関する規則第10条第3号の規定によりまして提案するものでございます。

開けていただき、別紙により説明をさせていただきます。この要綱につきましては、第1条で趣旨を規定しています。鹿児島県立吹上高等学校の活性化を図るため、予算の範囲内において交付金を交付するものであります。第2条で交付対象経費及び交付金の額について規定しています。吹上高等学校が実施する夢創プロジェクトの実施に要する経費で、国家資格取得支援事業、広報PR事業、市内企業との交流事業などの事業に対して交付するものでございます。昨年度まで市単独補助金等で予算措置をしていました事業を、今年度より、ガバメントクラウドファンディングという手法で寄附をしていただき、その寄附金を財源として交付をするものでございます。

第3条～第10条までは、交付金の交付申請から実績報告等、交付に係るものについて規定しております。第11条は(その他)でございます。附則では施行日を令和4年8月1日としております。また、吹上高等学校広報活動費補助金交付要綱及び日置市吹上高校生資格取得費補助金交付要綱については廃止をいたします。7～16ページまでは、用紙、各交付申請等に係る様式等について規定をしております。

先程申しましたガバメントクラウドファンディングについてでございます。今年度のこの交付金制度に当たっては、令和3年度

まで資格取得費補助金として、令和3年度は30万円を市単独予算で計上しておりました。令和4年度から、このガバメントクラウドファンディングという手法を活用し、寄附を募り、集まった寄附を財源とするものでございます。このクラウドファンディングにつきましては、ふるさと納税の制度を活用して行うものです。クラウドファンディングとは「不特定多数の人から、通常インターネット経由で他の人々や組織に財源の提供や協力などを行うもの」となっております。自治体が抱える問題解決のため、ふるさと納税の寄附金の使い道をより具体的にプロジェクト化して、そのプロジェクトに共感した方から、寄附金を募る仕組みとなっております。ただ今の実績として、全国から154件、約146万円のご寄附を頂いております。この内、様々なサイトの手数料やクレジット手数料等を差し引いた135万円程度を吹上高校に交付することになります。以上で説明を終わりますが、ご審議方をよろしくお願ひいたします。

奥教育長：はい。ただ今説明があったとおりでございます。この交付要綱の制定について、委員の皆様方のご意見、ご質問をお受けしたいと思ひます。

はい、内村委員。

内村委員：勉強不足なもので、教えてください。クラウドファンディング、ふるさと納税ということで、154件で146万円、色々差し引いて135万円を、国家資格の1から4まで交付すると書いてありますが、第1条で「予算の範囲内において交付金を交付するもの」とあります。結局、今後は毎年このクラウドファンディングをされるということですか。

奥教育長：はい。久木崎事務局長。

久木崎局長：これを財源として募集をかけまして、これを財源として交付していく計画でございます。

内村委員：今年は135万円ですが、来年は増えるか減るかというのは分からないので「予算の定めるところ」ということですね。

久木崎局長：通常、この寄附によらない場合も、「予算の範囲内」というところは行政の用語で使わせていただいておりますので、財政事情によって上限があったり、私などの努力で切られる場合もあるということで、こういった表現をさせていただきます。

内村委員：先程言われたように、令和3年度が30万円、その前が35万円と50万円、85万円だったと思いますが、それが1度に135万円に増えるということは、吹上高校としては非常にありがたいと言いますか、こういった資格等、広報PRに有意義に使えると思います。ですから、こういうクラウドファンディングの方式を考えられたのはすごい発想力というか。これは日置市の方で考えられたんですか。

奥教育長：はい。宮前補佐。

宮前補佐：ガバメントクラウドファンディングという仕組みは全国的に既に取り込まれておりまして、日置市としては初めての試みでございます。

今後ですが、様々な事業を挙げたところで一般の皆さんが全てに反応をしてくださるという性格のものではなく、ふるさとチョイスというサイトを活用して私共は今回行いましたが、そのサイトの利用に当たっても、今の社会問題を的確に捉えて、その課題解決のために「こういう仕組みを考えてみました、皆さんどうでしょうか」というような考えがございますので、全ての事業をこの制度を活用してという訳にはいきませんが、今後、日置市としては、これを足掛かりに、教育に限らず様々な施策の課題解決にこの制度を活用していこうかというところなんです。この結果を踏まえて、今後、検証を行いまして、次の応募の仕組みなどに発展をしていくのではないかと考えているところです。

内村委員：最後に、このクラウドファンディングは、今回は吹上高校が対象ですが、154件、これは吹上高校関連の方々からの熱い資金と考えていいですか。

宮前補佐：インターネットを通じて広く世界に発信をするということと、学校側と同窓会、PTAが連携をいたしまして、学校側からはPTA会員の皆様にこの仕組みの周知を行って寄附を呼び掛けること、同窓会の方も同窓会名簿を活用して県外にいらっしゃる皆様や県内に残っている皆様に対してこの案内を行いました。現在、この154件の名簿の整理をしている途中でございます。なかなかインターネットを介して寄附ができる世代という方々も限られており、同窓会からご要望がございまして、インターネットを介さずにできる仕組みはないのかということで、郵便振替用紙をご希望の方には発送しました。郵便振替をご利用になられた件数が73件でござい

ざいます。この郵便振替を使われたのが、ご高齢の方なのかなと
思っています。また詳しい内容が分かりましたら、皆様にお伝え
をしていきたいと思えます。以上でございます。

内村委員：色々詳しく説明をしていただいて、ありがとうございます。
今後ともよろしく願います。

奥教育長：はい。ありがとうございます。他にございせんか。

鶴木委員：よろしいでしょうか。今の内村委員の質問でだいたい分かりまし
たが、クラウドファンディングで寄附金を集めるということで、
目標額の設定があったと思えますが、どのくらいの目標額を設定
して、そしてまた、7月19日付けの南日本新聞の南風録に「この
寄附金については、県内にある企業は少なくなった人材の確保を
競い合うなかで、共感する地場企業は多いに違いない」とありま
すが、今整理しているということでしたが、企業からの寄附が分
かる所があるでしょうか。

宮前補佐：先程説明したとおり、まだ詳細が分かっておりせんけれど、
2件企業からの問い合わせがあったのは事実でございます。

目標額は100万円を設定してございます。通常のクラウドファン
ディングですと、目標額を達成しなければ、なかった話になるん
ですが、このガバメントクラウドファンディングという制度は目
標額に達しなくても集まったお金は活用できるという仕組みでご
ざいます。以上でございます。

鶴木委員：はい。ありがとうございます。

奥教育長：はい、胸元委員。

胸元委員：こちらの内容をPTAとして書類を受け取ったんですが、資料作
成はどちらが行ったんでしょうか。

宮前補佐：基本的には、この仕組みを説明しますと、吹上高校が「私達がこ
のプロジェクトを行いますので賛同をしてください」という体で
ございまして、吹上高校が全て準備をしております。日置市とし
て何をしたかと言いますと、ふるさとチョイスに掲載をする手続
きなどで支援をさせていただいているところです。以上です。

胸元委員：資料を読ませていただくと、「とても分かりにくかった」というの
が保護者の意見です。国家資格取得支援事業というのはすごく分
かりやすい文章でしたので、そこはもちろん分かるんですが、そ
れ以外のものはどうしても想像がうまくつかないものでした。も

っと分かりやすい資料作成をして、PTAや同窓会の方への資料
発送をしていただけたらなど。そうしたらもう少し集まったり、
声が広がるのではないかと思います。以上です。

奥教育長：はい。これは高校の方にも伝えておきたいと思います。参考にな
るご意見だったと思います。

久木崎局長：参考ですが、このクラウドファンディング方式を導入した経緯
は、市長の意向によるものが非常に強くて、これから取組を行っ
て、先程補佐の方が説明をいたしました。他の事業もこういった
ことで財源を確保していきたいというお考えがあらわれるよう
です。他県においては一大プロジェクトをこの方式で行って、何億
とか何十億とかで、例えば建物の建築費に充てたりする事業もご
ざいます。ですので、一大プロジェクトとする事業と、今回の場
合はこういった高校の取組でしたが、そういった事業も全国では
出ております。参考までに。

奥教育長：はい、分かりました。本市としては初めての試みで、これがモデ
ル的な事業で、比較的うまく進んだと言えるのではないかと思
います。今後、大きな可能性を秘めた1つの方策かなとも思
います。他にございませんか。

(特になし)

よろしゅうございますか。

(特になし)

それでは、ただ今の議案第2号につきましては決定としてよろし
ゅうございますか。

(異議なし)

それでは、議案第2号については議決させていただきます。

【議案 第2号 議決】

【報告第15号 令和4年度日置市一般会計補正予算(第4号)の市長への意見 具申について】

奥教育長：続きまして、報告第15号 令和4年度日置市一般会計補正予算(第
4号)の市長への意見具申について、説明をお願いいたします。久
木崎事務局長。

久木崎局長：それでは、報告第15号 令和4年度日置市一般会計補正予算(第

4号)の市長への意見具申について、でございます。令和4年度日置市一般会計補正予算(第4号)について意見を求められ、臨時に代理し、別紙のとおり回答したので、日置市教育委員会の行政組織等に関する規則第24条第2項の規定によりこれを報告するものでございます。それでは教育委員会所管分の説明をいたします。

資料の24ページをお開きください。今回の補正予算はコロナ禍における物価高騰等の影響に対しまして、地方創生臨時交付金を活用し、予算措置を行うものでございます。教育費で今回、1,967万円を計上するものでございます。

29ページをお開きください。先程申しましたように、コロナ禍による物価高騰等により給食の食材への影響が令和4年4月では、市内に3給食センターがございますが、平均で食材費が昨年度より仕入れ価格が約4.3%高騰しております。今後もこの物価高騰、原油価格の高騰も含めてですが、これが続いた場合、給食費の値上げが必要な事態となることが予想されます。保護者の負担軽減を今回の補正では、学校給食の値上げを避けるために負担軽減の支援策として、子ども達にこれまでどおり栄養バランスや量を保った学校給食が維持できるように、給食センターへ支援する経費を予算化したものでございます。今回1,967万円を給食センターへ補助する経費として予算化したものでございます。以上で説明を終わりますので、ご審議方よろしくお願ひいたします。

奥教育長：はい。ただ今説明があったとおりでございます。ご質問等ございますか。

(特になし)

よろしいですね。それではただ今の報告第15号については承認していただけますか。

(異議なし)

それでは承認といたします。

【報告 第15号 承認】

6 その他

- (1) 事務局長
- (2) 学校教育課長

- (3) 社会教育課長
- (4) 各支所教育振興課長
 - ア 東市来支所教育振興課長
 - イ 日吉支所教育振興課長
 - ウ 吹上支所教育振興課長
- (5) その他

6 閉会

奥教育長：以上で7月の日置市教育委員会定例会を終了します。お疲れ様でした。

終了

署名委員 内村友強 

署名委員 中野辰矢 

